

事業所名

こども家族みらい応援団 オバフロ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちの生きる力の土台を作り　笑顔と感動があふれるこの場所で　自分らしく生きられる将来を　家族と共に信じ、支え、作り上げていく						
支援方針		・子どもたちの好きなこと、夢中になれることに目を向け、伸ばしていく ・一人一人の興味や関心に合わせた様々な体験を通じてスモールステップを積み重ね、出来ることを増やし、子どもたちの自己肯定感を高める。 ・『きっかけ』と『結果』に着目し、良い行動を維持、増やしていけるよう支援する。						
営業時間		15 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	職員や友達との触れ合いを通じて、日常生活に寄り添い、基本的な生活スキルを身につけ、自立した生活を送る基礎が築けるよう支援をする。 ・色々な遊びの中で十分に体を動かす　・様々な活動に興味を持ち、楽しんで取り組む　・クッキングを通して職員や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心を養う　・時間に応じた行動の切り替えが出来るようになる　・持ち物の管理、道具や遊具の用意と片付けなど、環境の整備を自身で気付いて行えるようになる						
	運動・感覚	子どもたちの運動能力を高め、日常生活での動作がスムーズになるよう支援をする。 ・ボールを使った運動　・マーカーやラバーリング等を使ったビジョントレーニングやリズム運動　・ハンモックを使った感覚運動　・カードや音楽を使用した様々な感覚を刺激するゲーム　・自由に描いたり、作ったりして、遊びに使ったり、飾ったり等する製作活動						
	認知・行動	認知行動療法の手法を取り入れ、認知機能や適切行動をとることが出来るよう促し、問題解決能力を向上させ、学習能力の向上にもつなげられるよう支援をする。 ・身近な物を大切にすること　・身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ　・日常生活の中で、数量や図形などに関心をもち、簡単な標識や文字などに興味を持つ。						
	言語 コミュニケーション	自分の思いを適切に表現し、他者とのコミュニケーションがスムーズに出来るよう職員が介入して促したり、代弁することで、語彙力や文章理解力も向上するよう支援をする。 ・ロールプレイングやインタビューゲーム等を通じた会話訓練　・職員や友達の話に興味や関心をもち、親しみを持って聞いたり、話したりする　・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す　・終わりの会等で楽しかったことや感じたこと等を自分なりに言葉で表現する						
	人間関係 社会性	子どもたちが他者との適切な関わり方を学び、社会生活に必要なスキルを身につけ、自己肯定感の向上にもつながるよう支援をする。 ・色々な遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ　・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く　・友達の良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう　・活動の中で、共通の目的を見いだし、工夫したり、協力したり等する　・友達との関わりを深め、思いやりをもつ　・決まりの大切さに気づき守ろうとする						
家族支援		連絡帳（写真を含む）等による施設での様子や家庭での様子等々情報を共有する。子育てに関する困りごと等いつでも何でも相談しやすい環境を整備する。保護者同士が交流する機会の確保。家族で参加出来るイベントの開催。				移行支援	学校生活や就学に関する相談受理。就学の手続き等に関する情報提供及び就学先等への見学同行。就学先等との情報共有及び連携。	
地域支援・地域連携		学校や他事業所等との情報共有及び連携。他事業所等への見学。北区自立支援協議会こども部会への参加。				職員の質の向上	各種勉強会や外部研修への積極的な参加。事業所内での伝達教養、各種研修の実施。	
主な行事等		その時、その時、季節を感じられる行事等（お誕生日会、お正月の昔遊び、節分、ひなまつり、七夕、中秋の名月、ハロウィン、紅葉狩り、クリスマス等）						